

I 古代ギリシアの歴史についての空欄を埋め、問に答えなさい。

急速に勢力を広げたアテネに、(1) 同盟の盟主スパルタは脅威を感じ、やがて対立する両者は前431年(1) 戦争に突入した。アテネは、疫病の流行でペリクレスを失ってから政治が混乱し、スパルタに敗れた。その後、前4世紀半ばにはスパルタにかわりテーベが一時主導権をにぎるが、敗戦後も民主政をまもり続けたアテネは勢力を回復し、さらにアケメネス朝ペルシアがギリシア人同士をたがいに争うようしむけたので、これら有力ポリス間の争いはおさまらなかつた。たえまない戦争のあいだに、ポリスでは土地を失って市民の身分から転落するものが増えはじめた。そして市民軍にかわって金で雇われて働く(2)の使用が流行するようになると、市民団の団結は失われ、ポリス社会は変容しはじめた。その後、前4世紀後半、ポリスをつくらなかつたギリシア人の一派である北方の(3)王国が(4)のもとで軍勢力を強め、前338年の(5)の戦いでテーベとアテネの連合軍を破つた。彼はスパルタを除く全ギリシアのポリスを(6)に集め、それらを支配下においた。

(4)の子である(7)大王は、これまでギリシア諸国の争いにたびたび干渉してきたペルシアをうつため、マケドニアとギリシアの連合軍を率いて前334年、東方遠征に出発した。大王は、イッソスの戦い・アルベラの戦いに勝利してペルシアを滅ぼし、さらに軍をすすめてインド西北部までいたり、東西にまたがる大帝国を築いた。大王が急死した後、その領土はディアドコイ(後継者)と呼ばれる部下の将軍たちによって争われ、やがて(8)朝マケドニア・(9)朝シリア・(10)朝エジプトなどの諸国に分裂した。大王の東方遠征から、もっとも長く存続した(10)朝エジプトの滅亡(前30年)までの約300年間を、ヘレニズム時代と呼ぶ。この時代にはギリシア風の都市がオリエントやその周辺に多数建設され、これらの都市を中心にギリシア文化が広まった。なかでもエジプトの都(11)は、経済・文化の中心都市として大いに栄えた。

問1 スパルタについて、農業に従事した奴隷と商工業に従事した周辺民をそれぞれ何というか答えなさい。

II 古代ギリシア・ヘレニズムの文化について、以下の問に答えなさい。

問1 ギリシアの文化について以下の問に答えなさい。

- 1) 叙事詩『イリアス』・『オデュッセイア』の作者を答えなさい。
- 2) 次の自然哲学者を答えなさい。  
①万物の根元を水と考えた。 ②万物の根源を原子(アトム)と考えた。
- 3) 弁論術などを教えた職業教師を何というか答えなさい。また、「人間は万物の尺度」という言葉で知られる人物を答えなさい。
- 4) ソクラテスの弟子でアイデア論を説いた人物を答えなさい
- 5) ペルシア戦争を物語風に叙述した歴史家を答えなさい。
- 6) ペロポネソス戦争を批判的・客観的に叙述した歴史家を答えなさい。
- 7) アテネのアクロポリスに建設された、ドーリア式の神殿を答えなさい。

問2 ヘレニズム文化について以下の問に答えなさい。

- 1) 個人の内的幸福を追求し禁欲主義を説いた派とその創始者を答えなさい。
- 2) エジプトにあった、自然科学発達の中心となった図書館兼研究所を答えなさい。
- 3) 次の人物を答えなさい。  
①平面幾何学を大成した。 ②地球の子午線の長さを計測した。  
③太陽中心説を唱えた。 ④てこや浮体の原理を発見した。

4) 右の彫刻の名称を答えなさい。

